

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公表番号】特表2004-506584(P2004-506584A)

【公表日】平成16年3月4日(2004.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2004-009

【出願番号】特願2002-521142(P2002-521142)

【国際特許分類】

C 01 B 25/36 (2006.01)

C 09 D 1/00 (2006.01)

C 09 D 5/08 (2006.01)

【F I】

C 01 B 25/36 Z

C 09 D 1/00

C 09 D 5/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月19日(2008.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リンに対するアルミニウムの比率が1対1より大きい、リン酸アルミニウムを含む高温安定組成物であって、少なくとも50重量パーセントの非晶質含有率を有し、環境温度から1400までの温度において準安定であることを特徴とする組成物。

【請求項2】

基板をさらに含み、前記組成物が前記基板上の被膜である請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

高温における腐食および酸化から基板を保護するための方法であって、

リンに対するアルミニウムの比率が1対1より大きい、五酸化リンとアルミニウム塩とを含む前駆体溶液を前記基板に塗布する工程と、

その後前記基板上の前記溶液を乾燥およびアニールする工程と、
を含む方法。

【請求項4】

式A_{1+x}P_{4+3x/2}(式中、xは約0～約1.5である)で示されるリン酸アルミニウム組成物を含む準安定材料であって、前記組成物が約795cm⁻¹～約850cm⁻¹における赤外線スペクトルの放射を吸収する構造成分を有し、少なくとも約1000の温度において存在する準安定材料。

【請求項5】

約795cm⁻¹～約850cm⁻¹における赤外線スペクトルの放射を吸収するA_{1-x}A₁構造部分を有するリン酸アルミニウム生成物であって、五酸化リンのアルコール溶液をアルミニウム塩の溶液と混合し、その混合物を加熱することにより得られる生成物。